

国際化学肥料ニュース（2012年1月号）

肥料業界の2012年1月動態

* イギリス FMB 社が 2012 年化学肥料に関する予測を発表した。その内容の要約は下記の通り。2011 年、国際経済情勢の影響を受け、化学肥料の国際市場価格が大きく変動した。資源型および一部の大企業に独占されているりん安系肥料と塩化加里が高値安定の傾向であったが、競争メーカーの多い窒素系肥料はその価格変動が激しい。例えば、尿素については、1 月にロシア、ウクライナ産のものは FOB 価格が 380 ドル／トンであったが、4 月に 320 ドル／トンに下落した。しかし、5 月から価格が急上昇し、6 月に 500 ドルを突破、11 月まで 480 ドル前後で推移したが、12 月に再び下落に転じ、400 ドルを下回った。一方、DAP については、代表的なモロッコの FOB 価格は 1 月には 580 ドル／トンで、2 月から 600 ドルを超える、6～11 月には 680 ドル前後で推移し、12 月になってから若干下落しても、650 ドルを維持した。塩化加里は去年 1 年間 400 ドルから 510 ドル／トンにずっと上昇傾向を維持してきた。

2012 年世界のアンモニアと尿素の需要が約 4% 増。特に工業用尿素の需要が 5% 以上増加する可能性がある。肥料用として、インドが最大の輸入国で、2012 年に約 700 万トンの輸入量がある。輸出の面では、中国政府が尿素の輸出を一層強力にコントロールし、輸出量が 200 万トン以下に激減するが、中東と北アフリカの油田などからの副生ガスを原料とする低コストの尿素生産・輸出量が大幅に増加する。特にアルジェリア、イラン、カタールなどから 800 万トン以上の低価格尿素が市場に出て、価格を押し下げる可能性がある。

加里肥料については、2011 年に 5700 万トンの貿易量があり、2012 年には 5800～6000 万トンの新記録になるだろう。アメリカではトウモロコシと大豆の栽培面積の増加により、2012 年の加里肥料需要量が 1000～1050 万トン、ラテンアメリカ地域では、ブラジルが大豆、サトウキビ、トウモロコシの栽培が増え、アルゼンチン等も作物の増産に力を入れる関係で、ラテンアメリカの加里需要量が 1070 万トン、その中 800～820 万トンを輸入に頼る。中国では 2012 年の加里肥料消費量が 1100 万トン、輸入量 650～700 万トン、インドも 2012 年に 550～640 万トンの加里肥料を輸入するだろう。東南アジア諸国は 2012 年の加里肥料需要量が 2011 年と同様に 800～820 万トンと予測する。

りん安系肥料については、2011 年の「アラブの春」民主化運動で、モロッコやチュニジアのりん酸肥料生産が大きな影響を受け、輸出量が減り、市場価格が大幅に上昇した。2011 年にはアメリカの一部りん酸肥料工場が閉鎖され、中国も 2012 年のりん酸肥料輸出関税が強化されるが、サウジアラビアの Ma'aden プロジェクトの完成、モロッコとチュニジアの生産回復、モロッコのりん安肥料新設備の完成により、国際市場への全体輸出量がやや増加する。但し、旺盛の需要に応えるか否かが未知数で、原料とするりん鉱石、硫黄の価格の上昇もあり、2012 年にはりん安価格がやや上昇の可能性が高い。

い。

- * インドの化学肥料全需要量の約 1/3、特にりん酸肥料の半分、加里肥料のほぼ全量が輸入に依存する。インド政府が国内肥料価格を抑えるため、2011 年 4 月～2012 年 3 月までの財政年度に 170 億ドルの巨額補助金を出して、財政負担の重荷となった。現在、インド国内小売価格が尿素 5310 ルビー（約 105 ドル）／トン、DAP20000 ルビー（約 395 ドル）／トン、塩化加里 12000 ルビー（約 237 ドル）／トンで、政府の補助金は国産尿素約 160 ドル、輸入尿素約 300 ドル／トン、DAP 約 390 ドル、塩化加里約 316 ドル／トンである。インド政府は化学肥料、特に尿素の価格統制を緩和し、補助金を削減する方針を打出した。その内容は、尿素の補助金が 40%以上削減、DAP89 ドル、塩化加里 21 ドル削減、2012 年 4 月から施行する予定。
- * ブラジル、インド等のりん安輸入需要不振の影響で、大手りん安メーカーの減産が明らかになった。2011 年 12 月下旬、モロッコ OCP は Bunge/Maroc りん安生産ラインを休止し、NP 化成肥料の生産に転換することにより、2012 年 1～3 月りん酸肥料生産量が 30%、約 80～85 万トン DAP に相当する減産を行う。2012 年 1 月アメリカ Mosaic も 1～3 月のりん安生産量を 10%（25 万トン）減産すると発表した。また、ロシア PhaAgro も 2012 年 1～3 月の MAP、DAP 生産量を 18%減らす。
- * 尿素の国際市場価格が 2011 年 12 月に大幅下落したが、1 月上旬から上昇に転じた。
- * サウジアラビア鉱業 (SAMC) は 1 月に 4 万トン DAP をインド Zuari Indasutorizu に輸出した。これによりサウジアラビアの DAP プラントが完成してからすでに計 30 万トン DAP をインドに輸出した。
- * 中国やインドの加里肥料需要量の減少による塩化加里価格の下落を防ぐため、加里メーカーが一斉に生産調整を発表した。ロシア Uralkali は年間生産量を 8%減らし、1050 万トンとする。カナダ Potash Corp も一部鉱山の生産を削減する。この両社は世界塩化加里生産量の 37%を占め、その影響が大きい。

大手各社の営業業績

- * ヨルダン APC は昨年の業績を公表した。2011 年売上総額 9.3 億ドル（2010 年より 18% 増）、営業利益 3.7 億ドル（2010 年より 60% 増）、ヨルダン政府に 1.8 億ドル以上の税金と利益を上納した。ヨルダン APC は 1956 年設立、ヨルダン政府から死海の加里資源を 100 年間独占開発の許可をもらった。現在、当該社はヨルダン唯一の加里資源開発、生産販売の企業で、世界第 8 位の加里メーカー、時価総額 51.7 億ドル。

- * カナダ Potash Corp は 2011 年第 4 半期の業績を公表した。売上高 18.7 億ドル（2010 年同期より 2.9% 増）、純利益は 6.83 億ドル（2010 年同期より 34% 増）。

肥料プラント新規建設

- * 三菱商事とインド肥料最大手の Zuari Indasutorizu が共同でペルー Pakasumayo 社からりん鉱山の 30% 株式を取得した。当該りん鉱山はペルーの北西部にあり、確認されたりん鉱石の埋蔵量が 5.4 億トン。2013 年から開発、4 億ドルを投入し、2015 年から年間 250 万トンりん鉱石を採掘し、南米、インド、東南アジアに輸出する。三菱商事とインド Zuari の出資比率は 7 : 3 で、三菱商事が出資金 100 億円、持ち株 21% とする。
- * オーストラリア West farmers はその子会社の CSBP が西オーストラリア州 Kwinan 工場の硝安生産拡張計画を許可した。当該計画は 26 万トン／年の硝安生産設備を増設することで、総投資額 5.46 億ドル、2013 年 10～12 月完成予定。完成後、CSBP の硝安生産能力は 78 万トン／年に拡大し、West farmers の旺盛な需要を満たす。
- * ロシア Eurochem はカザフスタン政府とカザフスタン南部のりん鉱山開発に最終協議に入った。Eurochem はすでにカザフスタン Kapatay 盆地のりん鉱山開発許可証を有し、協議の要点は Jambul 州 Zhanatas 市に 100 万トン／年の選鉱工場を建設することである。Eurochem は当該開発に計 20 億ドルを投資し、25% の利権をカザフスタン政府に譲渡すると言われた。

その他

- * インドの 2011 年 4 月～2012 年 3 月の尿素、DAP と化成肥料生産量と輸入量等（推測値）が公表された。
尿素：国内生産量 2150 万トン、輸入量 700 万トン、販売量 2800 万トン、在庫 100 万トン。
DAP：国内生産量 350 万トン、輸入量 700 万トン、販売量 950 万トン、在庫 100 万トン。
化成肥料：国内生産量 850 万トン、輸入量 360 万トン、販売量 1080 万トン、在庫 100 万トン。
- * 2011 年 12 月ブラジルの化学肥料販売量 150 万トン、輸入量 130 万トン超。2011 年 1 年間に国内肥料販売量 2570 万トン、2010 年より 14% 増。輸入量 2000 万トン、2010 年より 31%、2009 年より 85% 増、共に史上最高水準を記録した。

- * チュニジア GCT は 2012 年 1 月から DAP と重過りん酸石灰の生産ラインを再開する予定。国内動乱で、鉄道の輸送が中断され、原料のりん鉱石はトラックで Gabes にある工場まで運ぶ計画。動乱の影響で、2011 年 5 月以降は GCT 社が DAP と重過りん石灰の生産を停止した。2011 年のりん鉱石採掘量も 300 万トンで、平年より 70% 減少した。
- * 日本は 2011 年 1~11 月の DAP 輸入量 28.8 万トン、輸入先はアメリカ 18.1 万トン、中国 10.5 万トン。同じ時期に MAP 輸入量 13.1 万トン、その中の 10.9 万トンはアメリカからの輸入であった。
- * 中国窒素肥料工業協会が公表した統計データによれば、2011 年 1~11 月、窒素肥料生産量 3534.7 万トン（前年度より 4.9% 増）、2011 年の生産量が 3860 万トンと推定され（前年度より 4% 増）。売上高 2151.7 億人民元（341.5 億ドル）、営業利益 93.6 億人民元（14.8 億ドル）、粗利率 4.35%
また、中国無機塩類工業協会の統計データによれば、2011 年中国国産加里肥料 604 万トン（塩化加里で計算）、前年度より 13.8% 増。国内加里肥料消費量 1040 万トン、国産自給率 58%。
- * ブラジルヴァーレ社は傘下子会社の Vale Fertilizantes の持株以外の 531.43 万株式を全部買取り、100% 子会社にする。